令和３年度

事　業　報　告　書

学校法人　足立学園

目　　次

1. 法人の概要

(1) 建学の精神 …… 1
(2) 設置する学校・学部・学科等 …… 1
(3) 沿革 …… 2～3
(4) 組織図 …… 4
(5) 設置学校の収容定員・学生数等 …… 5
(6) 役員・教職員等 …… 6

2. 事業の概要

(1)愛知文教大学 …… 7～11
(2)愛知文教女子短期大学 …… 12～17

3. 財務の概要

(1) 資金収支計算書の推移 …… 18
(2) 事業活動収支計算書の推移 …… 19
(3) 活動区分資金収支計算書の推移 …… 20
(4) 貸借対照表の推移 …… 21
(5) 令和３年度事業活動収入及び支出の構成比 …… 22
(6) 主な財務比率の推移 …… 23
(7) その他　財務諸表の説明等 …… 24

1. 法 人 の 概 要

（１）建学の精神

「質実にして知性高く、宗教的情操を身につけた真人を育成する」

（２）設置する学校・学部・学科等

愛知文教大学	大学院	国際文化研究科
	人文学部	人文学科

愛知文教女子短期大学	生活文化学科
	食物栄養専攻、生活文化専攻
	幼児教育学科第一部
	幼児教育学科第三部

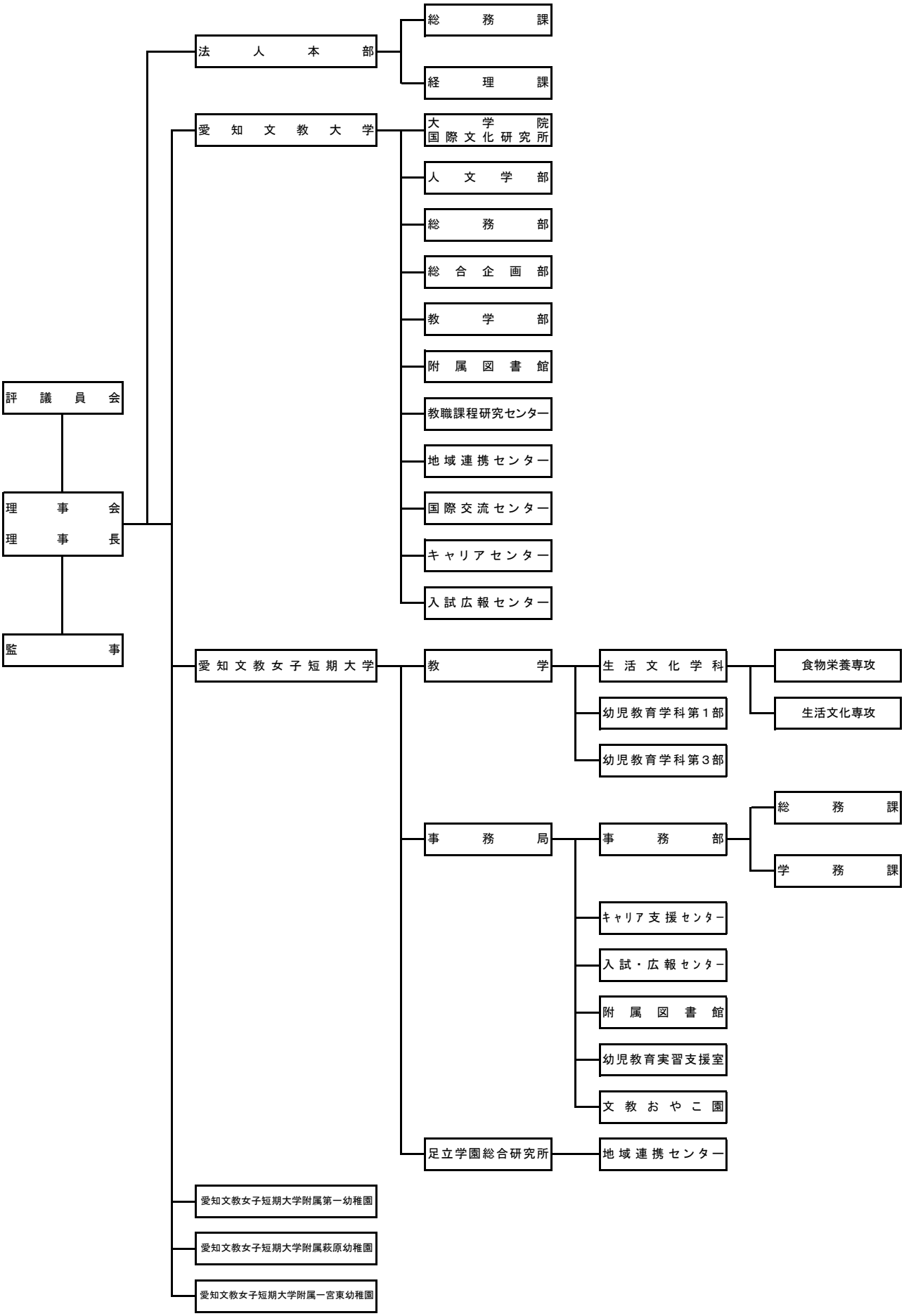
愛知文教女子短期大学附属第一幼稚園
愛知文教女子短期大学附属萩原幼稚園
愛知文教女子短期大学附属一宮東幼稚園

（３）沿革

昭和 26 年 3 月	稲沢女子短期大学設置認可　　家政科第 1 部設置認可
昭和 27 年 2 月	稲沢女子短期大学家政科第 2 部設置認可
昭和 31 年 2 月	稲沢女子短期大学附属第 1 幼稚園設置認可
昭和 32 年 4 月	稲沢女子短期大学家政学科第 1 部、栄養士養成施設として指定
昭和 38 年 3 月	稲沢女子短期大学生活デザイン科設置認可
昭和 41 年 1 月	稲沢女子短期大学幼児教育学科第 1 部設置認可
昭和 41 年 2 月	稲沢女子短期大学幼児教育学科第 1 部保母養成施設として指定
昭和 42 年 3 月	稲沢女子短期大学附属萩原幼稚園設置認可
昭和 44 年 2 月	稲沢女子短期大学幼児教育学科第 3 部設置認可
昭和 47 年 2 月	稲沢女子短期大学幼児教育学科第 3 部保母養成施設として指定
昭和 47 年 3 月	稲沢女子短期大学生活デザイン科をデザイン美術科に名称変更
昭和 50 年 3 月	稲沢女子短期大学附属一宮東幼稚園設置認可
昭和 58 年 4 月	稲沢女子短期大学本館竣工記念式典挙行
昭和 60 年 11 月	稲沢女子短期大学 2 号館竣工記念式典挙行
平成 2 年 3 月	稲沢女子短期大学家政科を生活文化学科に名称変更 生活文化学科第 1 部は食物栄養専攻と生活文化専攻に専攻分離
平成 5 年 4 月	稲沢女子短期大学を愛知文教女子短期大学に名称変更 附属幼稚園もそれぞれ愛知文教女子短期大学附属第 1 幼稚園、萩原幼稚園、一宮東幼稚園に名称変更 愛知文教女子短期大学 3 号館竣工記念式典挙行
平成 8 年 3 月	専攻科介護福祉専攻設置認可
平成 9 年 12 月	愛知文教大学設置認可

平成 13 年 5 月	愛知文教女子短期大学創立 50 周年記念式典挙行
平成 14 年 12 月	愛知文教大学大学院設置認可
平成 15 年 4 月	愛知文教大学大学院国際文化研究科修士課程設置
平成 15 年 4 月	愛知文教女子短期大学デザイン美術科をデザインアート学科に名称変更
平成 16 年 11 月	愛知文教大学大学院博士後期課程設置認可
平成 17 年 3 月	愛知文教女子短期大学生活文化学科 第 1 部 食物栄養専攻 栄養教諭免許課程 認定
平成 18 年 4 月	愛知文教女子短期大学デザインアート学科募集停止
平成 19 年 8 月	生活文化学科 第 1 部 「特色ある大学教育支援プログラム」文部科学省 採択
平成 22 年 4 月	愛知文教女子短期大学生活文化学科第 1 部を生活文化学科に名称変更
平成 22 年 4 月	愛知文教大学国際文化学部国際文化学科を人文学部人文学科に改組
平成 23 年 11 月	愛知文教女子短期大学創立 60 周年記念式典
平成 24 年 4 月	愛知文教大学大学院博士後期課程募集停止
平成 24 年 10 月	足立学園総合研究所設立
平成 27 年 3 月	専攻科介護福祉専攻廃止
平成 28 年 4 月	愛知文教女子短期大学生活文化学科生活文化専攻 情報ビジネスコースを新設
平成 28 年 6 月	文部科学省「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業に採択
平成 28 年 11 月	文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」に選定
令和 3 年 7 月	愛知文教女子短期大学創立 70 周年

学校法人足立学園組織図（令和3年5月1日現在）



(5)設置学校の収容定員・学生数等の状況

2021年5月1日現在

学校名	学部・学科名	入学定員	入学者数	編入学定員	編入学者数	収容定員	現員
愛知文教大学	人文学部	110	87	15	2	470	453
	大学院修士課程	8	3	－	－	16	3
	小計	118	90	15	2	486	456
愛知文教女子短期大学	生活文化学科	70	59	－	－	140	132
	幼児教育学科第1部	80	69	－	－	160	131
	幼児教育学科第3部	70	77	－	－	210	233
	小計	220	205	0	0	510	496
園名						収容定員	現員
愛知文教女子短期大学附属第一幼稚園		－	－	－	－	360	290
愛知文教女子短期大学附属萩原幼稚園		－	－	－	－	270	228
愛知文教女子短期大学附属一宮東幼稚園		－	－	－	－	207	169
計		338	295	15	2	1,833	1,639

2022年5月1日現在

学校名	学部・学科名	入学定員	入学者数	編入学定員	編入学者数	収容定員	現員
愛知文教大学	人文学部	110	60	15	7	470	396
	大学院修士課程	8	1	－	－	16	6
	小計	118	61	15	7	486	402
愛知文教女子短期大学	生活文化学科	70	58	－	－	140	116
	幼児教育学科第1部	80	31	－	－	160	98
	幼児教育学科第3部	70	58	－	－	210	217
	小計	220	147	0	0	510	431
園名						収容定員	現員
愛知文教女子短期大学附属第一幼稚園		－	－	－	－	360	269
愛知文教女子短期大学附属萩原幼稚園		－	－	－	－	270	190
愛知文教女子短期大学附属一宮東幼稚園		－	－	－	－	207	175
計		338	208	15	7	1,833	1,467

(6)役員等の状況　（2022年3月31日現在）

①役員

理事	定数	現員
	7名	7名

理事長	足立　誠	
理 事	富田 健弘	愛知文教大学学長、愛知文教女子短期大学学長
理 事	笠井　紀世史	愛知文教女子短期大学附属第一幼稚園園長
理 事	鈴木 雅之	法人本部長・財務担当
理 事(学外)	土川 清治	
理 事(学外)	林　茂夫	
理 事(学外)	西尾 隆史	

監事	定数	現員
	2名	2名

監事	加藤 愛一郎	
監事	服部　和彦	

②評議員

評議員	定数	現員
	15名～21名	15名

足立　誠	富田 健弘	笠井　紀世史	足立　諭	安藤 京子
立川 雄子	安井 映理子	鈴木 雅之	土川 清治	林　茂夫
西尾 隆史	三宅 洋子	猪子 雅王	横井 孝夫	横山 晴一

(7)教職員の状況 （2021年5月1日現在）

学校名	本務教員	本務職員	計
法　　人	0	3	3
愛知文教大学	21	18	39
愛知文教女子短期大学	33	22	55
第一幼稚園	18	2	20
萩原幼稚園	12	3	15
一宮東幼稚園	9	2	11
合　　計	93	50	143

２． 事業の概要

（１）2021 年度（令和３年度） 愛知文教大学 事業報告

１．教育研究活動

１）研究発表

本学は教育研究の柱を「アカデミアゼミ教育」と「卒業研究」とした。3、4 年生全員に研究発表を課している。1、2 年生は発表見学者として参加させた。また 2 年生は 3 年次の希望ゼミを選択する場とした。2021 年は 12 月 16 日（木）にコロナ禍の為、オンラインにて実施した。

２）アジア語学研修（2021 年度）

1 年生の海外語学研修は 2021 年度コロナウイルス感染症の為、実施を先送りとした。語学研修は本学の第 2 外国語を「英語」・「中国語」の 2 カ国語とし、これを学ぶプログラムである。語学を身に付けるには「留学」が必要不可欠と定義し、短期語学研修（英語圏、中国圏）を計画していた。2022 年 11 月の実施を計画している。

３）中長期海外留学（提携大学との交換留学を含む）

2021 年度はカナダに 1 名が半年留学した。提携大学との交換留学はコロナウイルス感染症の全世界規模拡大のため、実施出来なかった。

４）研究活動 科研費（2021 年度）

本学教員が 3 名（4 件）取得 合計 2,210,000 円（内 間接経費 510,000 円）であった。

２．IR（Institutional Research）

大学機関別認証評価（日本高等教育評価機構）を受審し、11 月 8 日、9 日、10 日の実地調査を経て「適合」と認定された。さらに、同機構の「2021 年度実施の認証評価結果における大学等の優れた取組みについて」において全学生の海外研修、語学ラウンジや学長昼食会など本学の 4 つの取組みが高く評価された。

３．2021 年度教員免許更新講習会

本学教職課程研究センター主催の教員免許状更新講習会（8/16～8/20）を開催した。

領域	講習コード・名称	講習期間	参加者
必修	授業づくり・学校づくりに活かす教育の最新事情	8 月 16 日(月)	102
選択必修	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業のあり方	8 月 17 日(火)	32
選択必修	学ぶ力をつけるためのキャリア教育	8 月 17 日(火)	18
選択必修	不登校問題等を見据えた学校・学校外の居場所の来し方行く末	8 月 17 日(火)	23
選択必修	教育現場ですぐに役立つ食物アレルギーの知識と対応	8 月 17 日(火)	31
選択	〈文学〉をどう教えるか―漱石・鴎外と現代文学の間	8 月 18 日(水)	15
選択	小中学校国語科教科書教材を一緒に研究しましょう	8 月 18 日(水)	6
選択	教育・保育の基盤としての子ども観	8 月 18 日(水)	23
選択	わかることの意味を考える	8 月 18 日(水)	34
選択	江戸時代の庶民教育	8 月 19 日(木)	25
選択	特別支援教育の課題と展望	8 月 19 日(木)	13

選択	文化遺産学の観点から尾張地域を考える	8 月 20 日(金)	8
選択	英語によるアウトプット活動の充実のために	8 月 20 日(金)	15
選択	子どもと保護者の心をつかむ表現とコミュニケーション	8 月 20 日(金)	31
選択	日本語を使わないで英語を教えるＧＤＭ入門	8 月 18 日(水)・19 日（木）	17
選択	触れて見て読む古典文学―服飾文化を中心として―	8 月 19 日(木)・20 日（金）	5
選択	主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の実現	8 月 19 日(木)・20 日(金)	32
		参加者合計	430
収入　2,916,000 支出　1,165,233　教職センター支出 150,000　研究所支出 600,000　　収益　1,000,767 円			

４．地域・社会活動

１）小牧市の要請に基づき各種委員会等に委員として教職員を参加させた。(2021 年度)

①小牧市国際交流協会理事・小牧市文化財啓発事業調査研究受託委員会委員　富田健弘、②小牧市文化財団理事・小牧市市民活動推進委員会委員・小牧市渉外学習審議会会長　竹中　烈、③太良上池・下池公園基本計画策定検討委員会委員　鈴木雅之、④愛知県小牧警察署国際化問題アドバイザー　辻　千春⑤小牧市民大学こまきみらい塾運営委員会委員・小牧市公共交通利用促進協議会役員　副島　孝、⑥小牧市国際交流協会委員　梶川克哉、⑦小牧市多文化共生協議会委員　山本眞琴、⑧「小牧市通学区域審議会委員」「小牧市通学区域審議会委員」「こまき少年少女発明クラブ企画運営委員長」　永井勝彦

２）小牧市の文化財啓発事業

小牧市文化財啓発事業調査研究受託委員会（事務長　宮崎貴光）　2021 年度は３回開催した。

2021 年は 999 万円の研究調査委託費を小牧市から委託された。

①小牧市歴史文化基礎講座を開催した。小牧市まなび創造館　　あさひホール（ラピオ５階）

回	月　日	演　題	講　師	備考
1	7 月 3 日(土)	小牧に人が住み始めるまで	元名古屋市博物館学芸員 川合　剛	78
2	7 月 10 日(土)	尾張地域の頭百姓について	愛知県立大学教授 大塚　英二	65
3	7 月 17 日(土)	名古屋築城と岩崎山	名古屋城調査研究センター 主査　原　史彦	102

②小牧市歴史講座　―「信長と家康」―

下記のように実施する予定であったが、2021 年 8 月 27 日の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言発出を受け、第 2 回以降は中止とした。

回	月　日	演　題	講　師	備考
1	8 月 21 日(土)	信長の父信秀と 家康の父広忠	國學院大學兼任講師 平野　明夫	123
2	8 月 28 日(土)	桶狭間の戦い	戦国史研究家 和田　裕弘	中止

3	9 月 4 日(土)	織田・徳川同盟の実態	東洋大学講師 柴　裕之	中止
4	9 月 11 日(土)	家康からみた 小牧・長久手の戦い	愛知大学教授 山田　邦明	中止
5	9 月 25 日(土)	信長の天下と家康	京都大学名誉教授 藤井　譲治	中止

③夏休み子ども向け講座　「子ども古文書寺子屋」　実施した。

日時　2021 年 7 月 31 日(土)・8 月 7 日(土)の 2 回連続講座　午前 10 時 30 分から 11 時 30 分

講師　酒向　道夫　（小牧市古文書調査会）

場所　小牧市まなび創造館　多目的室（ラピオ 4 階）

募集人員　15 名　（小学 4・5・6 年生対象）　　参加者 7 名

④小牧市古文書講座を開催した。

日時　基礎講座 4 回　11 月 27 日(土)～12 月 18 日(土)の毎土曜日

実践講座 4 回　令和 4 年 1 月 15 日(土)～2 月 5 日(土)の毎土曜日

午前 10 時 30 分～12 時

講師　基礎講座：酒向道夫

実践講座：藤堂修一、倉知俊夫、加藤憲吾、髙瀬眞知子、大川勝、吉田恭三、吉川將

内容　古文書の基礎から解読の実践へ

場所　基礎講座：小牧市まなび創造館研修室（ラピオ 5 階）

実践講座：　　〃　　多目的室（ラピオ 4 階）、

募集人員　30 名　　定員を超える応募があり抽選実施　参加者　28 名（2 名辞退）

⑤小牧市文化財巡り（北里地区）実施した。

日時　2021 年 11 月 7 日（日）

場所　北里地区（賢林寺・藤島雨水調整池・尾張神社周辺）

案内人　　篠田　徹はじめ文化財地図作成委員

募集人員　20 名　　参加者 17 名（当日欠席 3 名）

⑥古文書展　「江崎文書から見た小牧山と小牧宿」実施した。

新図書館ギャラリーを会場に、図書館と連携して企画した

日時　2022 年 1 月 29 日(土)～2 月 6 日(日)　　午前 10 時～午後 4 時

会場　小牧市中央図書館　1 階ギャラリー

入場者数　278 名

講演会　　石田泰弘氏の講演会を開催した。

演題　　『小牧宿あれこれ』

入場者数　90 名

会場：小牧市まなび創造館　あさひホール

⑦小牧の旧道調査事業

昨年度の上街道調査に続き、今年度は、味岡から野口・大山までの「入鹿内津道」を調査対象とし、ガイドマップ(350 冊)と映像資料(DVD120 枚)をつくった。

⑧「信長文庫」の収集・整理

書籍 3 点、図録 2 点、定期刊行物 11 点を収集した。

3）小牧市学習チューター制度へ協力（小中学校の学習支援を実施）

桃ケ丘小学校 20 回、篠岡小学校 20 回、桃ケ丘小学校 10 回、桃ケ丘小学校 9 回、合計 59 回

4）地域交流事業として近隣団地で開催された小牧市民祭に参加

学生がボランティアとして参加予定であったが、実施されなかった。

５）小牧市国際交流協会の事業への協力

「国際こども教室」、「ワールドレストラン」「スポーツ交流会」「国際交流ふれあいフェスタ」にボランティアとして学生が参加する予定であったが、実施されなかった。小牧市協働推進課とＮＰＯ法人小牧市市民活動ネットワークが開催した「こまき市民活動祭」に参加する予定であったが、実施されなかった。

①外国語講座　中国語入門講座　馬燕

6 月 26 日～10 月 23 日　土曜日　10:00～12:00　全 10 回　小牧市民会館

受講者数　日本人 7 名

５．サテライト教室

会場：愛知芸術文化センター会場

	エジプト講座	クラシック講座	源氏物語講座
春講座 （4/12～5/31　全５回）	136 名	89 名	
夏講座 （7/12～9/20　全６回） ※第５回（9/7）第６回（9/12）は中止	112 名	88 名	
秋講座 （10/11～12/27 全６回）	131 名	111 名	
冬講座 （1/24～3/29　全６回）	139 名	109 名	19 名（2/8 のみ）
合　　計	518 名	397 名	19 名

収支決算　　収入　1,709,500 円　　支出　1,605,439 円　　収益　104,061 円

６．高大連携

本学提携高校との連携事業を実施する。令和３年度現在 16 校と提携

①啓明学館高等学校、②愛知啓成高等学校、③愛知県立春日井商業高等学校、④大成高等学校、⑤愛知県立愛知商業高等学校、⑥愛知県立南陽高等学校、⑦高松学園伊那西高等学校、⑧愛知県立中川商業高等学校、⑨愛知県立一宮商業高等学校、⑩名古屋市立名古屋商業高等学校、⑪愛知県立岡崎商業高等学校、⑫愛知県立半田商業高等学校、⑬愛知県立瀬戸北総合高等学校、⑭愛知県立津島北高等学校、⑮愛知県立犬山南高等学校、⑯愛知県立春日井東高等学校

１）5 月 26 日　岩倉総合高校　English international Communication Language　　勝股行雄

２）6 月 4 日 名古屋市立北高校　＜病＞で読む近代文学―夏目漱石と＜感染症＞　　佐藤良太

３）9 月 2 日　南陽高校　　English as Global Language　　勝股行雄

４）11 月 10 日　日進西高校　English as Global Language　　勝股行雄

５）3 月 17 日　山田高校　　＜絵画＞で読む近代文学―夏目漱石と西洋美術　　佐藤良太

６）10 月～12 月　伊那西高校　オンラインで木曜日に 3 回　　遠藤康、小林正樹、江口直光

７．「学び合う学び」研究所活動報告

2021 年	セミナー内容	参加者
4 月 24 日	Society5.0 とコロナ禍における教育のあり方　講師：名古屋大学　柴田好章	18
5 月 8 日	学び合う学び研究所設立記念シンポジウム学び合う学び コーディネーター：名古屋大学　柴田好章 愛知県立小牧南高等学校　青　ちづる 小牧市立岩崎中学校　　尾形　卓也 記念講演　　佐藤　學(学習院大学特任教授・東京大学名誉教授)	108
5 月 29 日	緊急事態宣言のため中止	
6 月 26 日	ＩＣＴ：授業担当者対象　「学習指導要領の実現を目指したＩＣＴ機器の利活用『主体的に学習に取り組む態度』って」　　授業と学びの研究所　神戸和敏	24
7 月 31 日	「道徳の授業の話をしませんか」　　愛知学泉大学　前田　治	19
8 月 7 日	「豊かに生きるを　音楽科から考える」 小木小学校長　中川裕子　小牧中学校　安斎　藍	31
8 月 28 日	「美術・図工指導の悩み、子どもの作品の見方を語り合いませんか」 学び合う学び研究所　永井勝彦　陶小学校　末継美紀	17
9 月 18 日	「学び合う『学び』を支える『授業』づくりの視点 ～ 初任者、少経験者限定～」　　学び合う学び研究所　木村芳博　ゲストティーチャー 金内俊樹（村中小）川澄千佳子（小牧中）合田亮介（小牧中）	19
10 月 30 日	「学び合う学びが目指すもの、その実現でたいせつにしたいこと」 東海国語教育を学ぶ会顧問　石井順治	53
11 月 13 日	「低学年の算数の指導はなぜ難しいのか」 学び合う学び研究所中島淑子	12
12 月 11 日	「学び合う学びとヒドゥン・カリキュラムについて」中部学院大学　後藤孝文	22
1 月 22 日	「『誰もひとりにしない教育』の深～い意味」 学び合う学び研究所　副島　孝	29
2 月 19 日	「子どもの事実から学ぶ国語の授業を一緒に考えませんか？」 学び合う学び研究所　栗木智美	25
3 月 26 日	「４月から『学び合う学び』をはじめたい人に　－ 実践例から学ぶ －」 学び合う学び研究所　倉知 雪春　　実践発表者：小牧市立味岡小学校 今野悦子、可児市立中部中学校　竹田浩大	35
	2021 年度合計	412

以　上

（２）2021 年度（令和３年度）　愛知文教女子短期大学 事業報告

１．2021 年愛知文教女子短期大学 70 周年記念事業を実施

(1) 記念式典（30 分）と記念コンサート
　検討事項：同時オープンキャンパス開催

(2) 寄付金の募集を行う。(企業、地域、同窓生等)
　ふるさと納税形式（クレジット型募金活動)、事業団形式、その他

(3) 70 周年記念奨学金の支給を検討する。授業料全額免除。地域出身者優遇施策。

【報告】

(1) **記念公演開催**：「70th ABC’s Anniversary Concert ～感謝を込めて未来へ！～」 7 月 31 日（土）13:00～ 豊田合成育館記念体育館 エントリオにて、約 700 名が参加した。同時開催：オープンキャンパス 夏期公開講座

(2) **記念募金活動**：3 ヶ年計画で行っている。募金目的は、ふれあいまなびライブラリー設置である。募金総額 2,612,000 円 （2022 年 5 月現在）

(3) **記念奨学金** 2022 年度入試 該当者 1 名授業料免除（入学年次分）

(4) **記念講演会開催**：学生・卒業生を対象に、11 月 5 日（金）10:30～ 短期大学内ラウンジ（オンライン配信）にて、小林富雄氏（愛知工業大学）をお迎えし、「食品ロス問題から考えるＳＤＧｓ時代の食文化」 について実施した。

(5) **稲沢市への防災食の贈呈**：70 周年記念品として製造したパンの缶づめ（卵不使用） 10 ケース（240 缶）を防災備蓄品として贈呈した。　贈呈式は、令和 4 年 1 月 26 日 稲沢市役所 市長室にて行った。

２．施設・設備改修計画

(1) トイレ改修工事
　①Ⅰ・Ⅱ号館：4F 女子トイレ（多目的トイレ)、1F 男女トイレ、2F 女子トイレ
　②Ⅲ号館：(第 1）3Ｆ女子トイレ（多目的トイレ)、4Ｆ男女トイレ

(2) 固定机・椅子の教室 → 一人一組の机（アクティブラーニングを可能にする）
　Ⅱ－306、Ⅱ－402 の変更　見積あり（令和 2 年度事業計画で未実施）

【報告】

事業計画になかった空調機器の不調による、機器の更新（Ⅰ・Ⅱ号館空調機器 10 室（10,600 千円)、Ⅱ号館ピアノ室（3,500 千円)）を優先改修し、予算を大幅に超過したため、トイレ、固定机の改修は、先延ばしとなっている。

３．食物アレルギー認定団体設立計画

(1) 私学研究ブランディング事業の発展型、食物アレルギー認定団体設立を目指す。

(2)「こどものアレルギー・食育研究会」3 月 18 日発足、その後の活動計画。

(3) 保育士の初任者研修パックを開発し営業する。到達度テストを在学生に実施し、資格認定試験にむけ検討する。

【報告】

(1)　令和2年度に**「こどものアレルギー・食育研究会」を発足**した。

(2)　**活動計画**

① 講演会：藤田医科大学医学部総合アレルギー科教授 矢上晶子先生をお迎えし、令和 3 年 3 月 18 日に発足記念講演会を開催した。令和 4 年 3 月 17 日にはうりすクリニック名誉医院長 宇理須厚雄先生をお迎えし、基調講演を開催した。

② こども用防災リュック開発：「子ども用防災リュック（幼児用）」をクミカ工業株式会社、加賀産業株式会社と共同で開発中である。リュック内の備蓄品は食物アレルギー児にも対応できるようにしている。令和4年9月の発売を目指している。

③ 稲沢市保育課：保育士研修会動画配信

④ セミナー開催：「子どものいる暮らしから防災・備災を考える」動画配信

⑤ 研究会開催：令和3年度には年間10回開催した。

(3)**「こどもの食物アレルギー実務技能検定」を創設**：日本医療福祉実務教育協会にて「こども食物アレルギー実務課程」を設置した。協会加盟校で検定を実施予定。保育士、栄養士による「子どものアレルギーと食育を考えるワークショップ」開催予定。

4．2022年短期大学基準協会第三者評価(第3期認証評価)受審準備

教育改革の推進、自己点検の実施、「教育の質保証」を明確化する。

(1) 教育教革の推進事業

① 愛知文教大学に編入計画

愛知文教大学に編入、又は提携大学に留学できないか検討する。

② 愛知文教大学の教員免許更新講習会と連携

(幼稚園教諭、栄養教諭　教員免許更新)

【報告】

①　編入・留学は計画されていない。

② 短大教員が愛知文教大学の教員免許更新講習会の講師を務めた。

(2) 自己点検・評価への組織的な取組み(認証評価指摘事項)を行う。

①桜の聖母短期大学(福島県)と相互評価を行う。

②外部評価委員会実施:令和2年度はコロナの影響で書面のみとなった。

③自己点検評価委員会の定期点検を実施する。

④評議員会へのヒアリングを行う。

⑤中長期計画の点検を行う。

【報告】

① **桜の聖母短期大学と相互評価**：令和 3 年 9 月 8 日（水）9：00～11：30 に、桜の聖母短期大学(福島県)とオンラインで相互評価を行った。相互評価報告書を作成し、短期大学基準協会に提出した。

② **外部評価委員会実施**：令和3年2月14日（月）10：00～11：00、zoomによるオンラインにて、外部評価委員会を開催し、自己点検報告書に関する質疑応答、動画による施設紹介を行った。

③ **自己点検評価委員会実施**：各部署に定期点検を依頼し、令和 2（2020）年度の自己点検評価報告書を作成した。今年度の認証評価の対象となる令和 3（2021）年度の自己点検評価報告書は、令和 4 年 6 月に完成予定である。
④ 評議員会へのヒアリングは行えなかった。
⑤ 中長期計画の点検：令和 4 年度に計画している。

(3) 教育の質保証を明確化
① 3 P（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）の定期的な点検
② 教学マネジメント委員会において、学修の可視化、実務系教員の積極的採用を実施する。
③ 教員の教育力強化のため研究環境整備を行う。
④ シラバス整備(認証評価指摘事項)を行う。
⑤ 入学定員適正化 1.15 未満維持(認証評価指摘事項)を保守する。

【報告】
① **3P の点検**：令和 2 年度に新しく作成した 3P について、令和 4 年 2 月の各学科会での見直しと、DP（ディプロマ・ポリシー）の学内浸透度・納得度の確認を行った。
② **学修の可視化**：教学マネジメント指針に基づき、学修の可視化のため測定データをリスト化し、測定されたデータを共有するフォルダーを作成した。
③ **研究環境整備**：研究日により研究を行う時間の確保ができている。また、論文掲載や学会発表等の実績に応じた研究費が設定されている。
④ **シラバス整備**：生活文化学科と幼児教育学科のシラバスを他学科の教員が確認し、第三者による点検を行っている。その際に、前回の認証評価で指摘のあった、内容の書き分け、文言の統一を重点箇所として点検している。また、令和 3 年度のシラバスから、科目と DP（ディプロマ・ポリシー）との関係を示す項目を追加した。
⑤ 定員管理を強化しており、入学定員 1.15 未満を維持している。

5．文教おやこ園
稲沢市の委託事業(2020 年 4 月から稲沢市役所委託事業として補助金運営)、子育て支援オンライン事業を検討する。

【報告】**添付資料＿1**
① 開催日数：137 回
② 利用者数：3,124 名
③ 令和 3 年度　**稲沢市からの委託金　2,500,000 円**

6．足立学園総合研究所・地域連携センターの活動支援
(1) Adachi fashion academy　春期講座・秋期講座の開講
(2) いなざわサマーカレッジ 2021（子どもゆめ基金申請）
(3) いなざわデザイナーカレッジ 2021（子どもゆめ基金申請）
(4) 稲沢市との包括協定に関わる連携講座（平成 25 年に締結）
生涯学習事業、子育て支援事業、食育に関する講師派遣、地域連携事業の開催
(5) 産学連携（包括協定）事業強化する。

大学ブランディグ、リカレント教育、収益性事業

【報告】
(1) **AFA 講座**（5 月 6 月中止）10 講座開催 参加者 96 名（3 講座中止）
(2) **いなざわサマーカレッジ** 2021 親子講座（子どもゆめ基金助成事業）8/3～5 参加者 202 名 サマーカレッジ（文化振興財団連携）8/3～5 参加者 101 名
(3) **いなざわデザイナーカレッジ**親子講座 8/17～19 参加者 80 名（子どもゆめ基金なし）
(4) **稲沢市との連携**：稲沢市教育委員会、美術館他への委員派遣（ 19 件 9 名）
(5) **産学連携事業**：2021 年度包括連携締結 稲沢商工会議所 （令和 3 年 4 月 14 日）合計 11 件 「夏期公開講座」「稲葉宿を語る」他、連携事業 5 事業実施

７．学科特色による地域貢献事業

(1) 文教こどもフェスタの開催

【報告】
コロナ禍においての開催ということで、昨年度１月実施を中止し、新たに第１２回文教こどもフェスタを 5 月 8 日（土）9:00～12:00、学生のみを対象に行った。本来は近隣の子どもたちを招いて行うものであるが、学生自身が子どもになって遊びの体験をしたり他のクラスの企画を見たりして様々な授業での学びを生かすものとした。

(2) みんないっしょのクリスマスパーティーの開催

【報告】
令和 3 年度 12 月 4 日に実施済み。新型コロナ肺炎感染拡大防止のため、テイクアウトにて実施した。10 組の家族が来学し、計 40 食分のアレルギー対応フルコース料理をテイクアウトで提供した。食物栄養専攻はメニュー考案と調理・パッケージングを担当し、生活文化専攻は開催告知ポスター作成、ランチョンマット、パンフレット、クリスマスカード、アレルギー対応企業の紹介冊子の制作を担当した。幼児教育学科は家庭で鑑賞できる「手遊び」の YouTube 動画作成を担当した。試作日に中日新聞の取材を受け、11 月 16 日の新聞に記事が掲載された。

(3) 食育講座「めざせ!ちびっこシェフ」の開催

【報告】
令和 3 年度に第 1 回目 7 月 3 日、第 2 回目 10 月 30 日に開催済み。参加者は各回ともに 12 名（コロナにより限定)。食物栄養専攻 2 年生の選択科目「食育実践演習」での取り組みで、履修学生は 8 名。授業内で献立の考案、試作を行い、「広報いなざわ」にて参加者公募。新型コロナ肺炎感染拡大防止のため、デモンストレーションと調理までを本学調理実習室で行い、出来上がった料理はすべて持ち帰る方式にて開催。

(4) おいしい笑顔!野菜レシピコンテストの開催

【報告】
作品応募期間は 8 月 27 日から 9 月 10 日で、中学生部門応募者 150 名、高校生部門応募者 307 名であった。書類選考の結果、優秀賞、特別賞、入賞、佳作の各賞を決定し、11 月 6 日に結果発表および賞状と副賞を発送した。本コンテストは東海農政局、愛知県、稲沢市教育委員会、稲沢市野菜摂取・減塩推進協議会、愛知県栄養士会、JA 愛知西、中日新聞社による後援を受けた。また、全国栄養士養成施設協会からは後援と、70,000 円の助成金を受けた。中日新聞に 11 月 18 日記事が掲載された。

(5) 職業実践力育成プログラム(BP)による社会人教育

【報告】
職業実践力育成プログラム(BP)による社会人教育は、昨年度に続き、本年度も履修志願者および入学者なし。公募は継続する予定である。

(6) 高齢者福祉施設における年間行事に参加

【報告】
新型コロナ肺炎感染拡大防止のため、「信竜会」における七夕茶会は中止となったが、専攻の学生手作りの暑中見舞いカード約 200 枚を代表学生 2 人が届けることで、代替行事とした。

(7) 地域産業との協働プログラムの推進

【報告】
① **清須市とのコラボによる定番グルメ開発事業**：清須市の定番グルメ「清須めし」を開発した。令和 2 年度より本学が標準レシピ考案を担当し、レシピのルール作りを行った。「清須からあげまぶし」の標準レシピを市内の事業主へ提供し、令和 3 年 12 月 18 日に清須フェスが開催され「清須からあげまぶし」が提供された。
② 生活文化専攻（2 年 BH）**企画・運営「夏をお届け」**（対象：稲沢市 信竜会 高齢者施設 ケアハウス信竜・おひさま 利用者約 300 名）2021.7.14 実施。例年、学生とお茶会を実施してたが、コロナ禍でできなかったため、少しでも施設利用の高齢者に元気と季節感を届けたいとイベントを企画。暑中お見舞いはがきを学生が作成し、浴衣を着た学生と施設を回り、代表の利用者様にお届けした。【新聞掲載： 7／15 日（木）中日新聞（尾張版)】
③ 生活文化専攻 ビジネスコース（1 年 プロジェクト演習） **企画・運営「廃れた地球を救うために様々な謎を解け！」**（対象：小学生 14 名）2021.7.3 実施。SDGｓに関する知識をゲームしながら学び、体感できるイベントを企画実施。稲沢市教育委員会、一般社団法人 SDGs design の後援を受け、稲沢市中央図書館で実施。SDGs の取組促進につがるイベントとなった。【新聞掲載：7／6（火）中日新聞（尾張版)】
④ 生活文化専攻 ビジネスコース（1 年 プロジェクト演習） **企画・運営「SDGs×企業展 2021 in 稲沢」**（対象：学生 26 名 企業 10 社）2021.12.12 実施。SDGs に興味のある学生と SDGs に取り組んでいる企業をマッチングする企業展を実施。稲沢市商工会議所と協働し、エントリオで実

施。SDGs に対する取組促進にもつがるイベントとなった。【新聞掲載：11／26（火）中日新聞（尾張版）】

⑤ 生活文化専攻（2 年 卒業研究）**企画・運営「稲沢イルミネーション」**2021.5.13～2022.3.11 実施。広報イベントの学生部会として、稲沢イルミネーションのイベント企画、実施、SNS 発信や設置、イベントボランティアなどに協力。【新聞掲載：11/7（日）中日新聞（尾張版）】

⑥ 生活文化専攻 （2 年 卒業研究）**企画・運営「I'm ファイン薬局の季節の窓飾り」** 2021.5～2022.3 実施。毎月 3～4 名の学生が、I'm ファイン薬局へ行き、季節に合わせた窓飾りを実施。I'm ファイン薬局の利用者を楽しませた。

⑦ 生活文化専攻 （2 年 卒業研究）**企画・実施「段ボールコンポストを利用した SDGs プロジェクト」**2021.4～2022.3 実施。稲沢市資源対策課の方から段ボールコンポストの実施方法を学び、調理実習ごみを活用し、コンポストの作成。稲沢高校に協力を依頼し、高校生と花壇作りと花植を実施。【新聞掲載：11/20（土）中日新聞（尾張版）】

⑧ 生活文化専攻 （1 年 BH）**企画・制作「美術館周辺マップ制作プロジェクト」**2021.6～2021.10 実施。稲沢市荻須記念美術館からの依頼プロジェクト。周辺の飲食店を取材し、マップの作成を行った。特別展に合わせて、来場者に配布。街の活性化に貢献した。

８．デジタル・トランスフォーメーション（ＤＸ）の推進計画

【報告】
文部科学省に DX 推進のため補助金申請をしたが不選定になった。今後の課題となる。

９．第６回短大フォーラム

【報告】
令和４年１月３０日、３月４日に第６回短大フォーラム「とも」～Friends・with・both～を全国の６短期大学とで共同開催した。
参加した短期大学は、愛知文教女子短期大学、大妻女子大学短期大学部、京都光華女子大学短期大学部、香蘭女子短期大学、中京学院大学短期大学部、松本大学松商短期大学部である。

以上

3. 財務の概要

(1) 資金収支計算書の推移

（単位:千円）

科目		令和元年度	令和2年度	令和3年度
収入の部	学生生徒等納付金収入	1,205,889	1,186,009	1,129,302
	手数料収入	21,580	19,578	15,240
	寄付金収入	16,806	13,808	22,854
	補助金収入	307,705	331,730	330,025
	資産売却収入	264	244	300,222
	付随事業・収益事業収入	85,705	96,320	103,256
	受取利息・配当金収入	15,544	15,181	14,921
	雑収入	117,328	112,924	96,066
	借入金等収入	0	0	0
	前受金収入	420,235	405,920	355,365
	その他の収入	568,882	429,013	397,057
	資金収入調整勘定	△ 464,969	△ 485,860	△ 435,802
	前年度繰越支払資金	1,155,596	1,269,669	1,133,356
	合計	3,450,565	3,394,536	3,461,862
支出の部	人件費支出	954,100	943,666	909,443
	教育研究経費支出	396,441	480,668	295,419
	管理経費支出	335,924	307,716	351,088
	借入金等利息支出	16	14	11
	借入金等返済支出	0	0	0
	施設関係支出	36,509	91,642	8,894
	設備関係支出	32,851	45,291	71,042
	資産運用支出	0	0	450,000
	その他の支出	530,527	488,964	454,025
	資金支出調整勘定	△ 105,472	△ 96,781	△ 79,574
	翌年度繰越支払金	1,269,669	1,133,356	1,001,514
	合計	3,450,565	3,394,536	3,461,862

(2) 活動区分資金収支計算書の推移

（単位：千円）

項目		令和元年度	令和2年度	令和3年度
教育活動による資金収支	教育活動による資金収入計	1,755,013	1,760,369	1,680,044
	教育活動による資金支出計	1,686,465	1,732,050	1,555,950
	差引	68,548	28,319	124,094
	調整勘定等	△ 4,665	△ 22,918	△ 51,449
	教育活動資金収支差額	63,883	5,401	72,645
施設整備等活動による資金収支	施設設備等活動資金収入計	120	100	11,454
	施設設備等活動資金支出計	69,360	136,933	79,936
	差引	△ 69,240	△ 136,833	△ 68,482
	調整勘定等	△ 2,524	△ 40,957	17,631
	施設設備等活動資金収支差額	△ 71,764	△ 177,790	△ 50,851
小計(教育活動資金収支差額+施設設備等活動資金収支差額)		△ 7,881	△ 172,389	21,794
その他の活動による資金収支	その他活動資金収入計	562,599	393,752	651,820
	その他活動資金支出計	440,645	357,408	805,456
	差引	121,954	36,344	△ 153,636
	調整勘定等	0	△ 268	0
	その他活動資金収支差額	121,954	36,076	△ 153,636
支払資金の増減額		114,073	△ 136,313	△ 131,842
前年度繰越支払資金		1,155,596	1,269,669	1,133,356
翌年度繰越支払資金		1,269,669	1,133,356	1,001,514

(3) 事業活動収支計算書の推移

（単位：千円）

科目			令和元年度	令和2年度	令和3年度
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,205,889	1,186,009	1,129,302
		手数料	21,580	19,578	15,240
		寄付金	18,002	14,769	14,044
		経常費等補助金	307,705	331,730	328,756
		国庫補助金	200,273	215,122	208,566
		地方公共団体補助金	107,432	116,608	120,190
		付随事業収入	85,705	96,320	103,256
		雑収入	117,329	112,931	107,574
		教育活動収入計	1,756,210	1,761,337	1,698,172
	事業活動支出の部	人件費	942,061	945,788	911,389
		教育研究経費	547,443	636,665	459,976
		管理経費	359,156	328,260	373,820
		徴収不能額等	1,495	0	0
		教育活動支出計	1,850,155	1,910,713	1,745,185
	教育活動収支差額		△ 93,945	△ 149,376	△ 47,013
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	15,544	15,181	14,921
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	15,544	15,181	14,921
	事業活動支出の部	借入金等利息	16	14	11
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	16	14	11
	教育活動外収支差額		15,528	15,167	14,910
経常収支差額			△ 78,417	△ 134,209	△ 32,103
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	120	100	78
		その他の特別収入	5,808	3,407	18,700
		特別収入計	5,928	3,507	18,778
	事業活動支出の部	資産処分差額	1,471	129	6,838
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	1,471	129	6,838
	特別収支差額		4,457	3,378	11,940
基本金組入前当年度収支差額			△ 73,960	△ 130,831	△ 20,163
基本金組入額合計			△ 29,536	△ 169,064	△ 26,000
当年度収支差額			△ 103,496	△ 299,895	△ 46,163
前年度繰越収支差額			△ 4,029,570	△ 4,116,377	△ 4,416,272
基本金取崩額			16,689	0	524,641
翌年度繰越収支差額			△ 4,116,377	△ 4,416,272	△ 3,937,794

(参考)

事業活動収入計	1,777,682	1,780,025	1,731,871
事業活動支出計	1,851,642	1,910,856	1,752,034

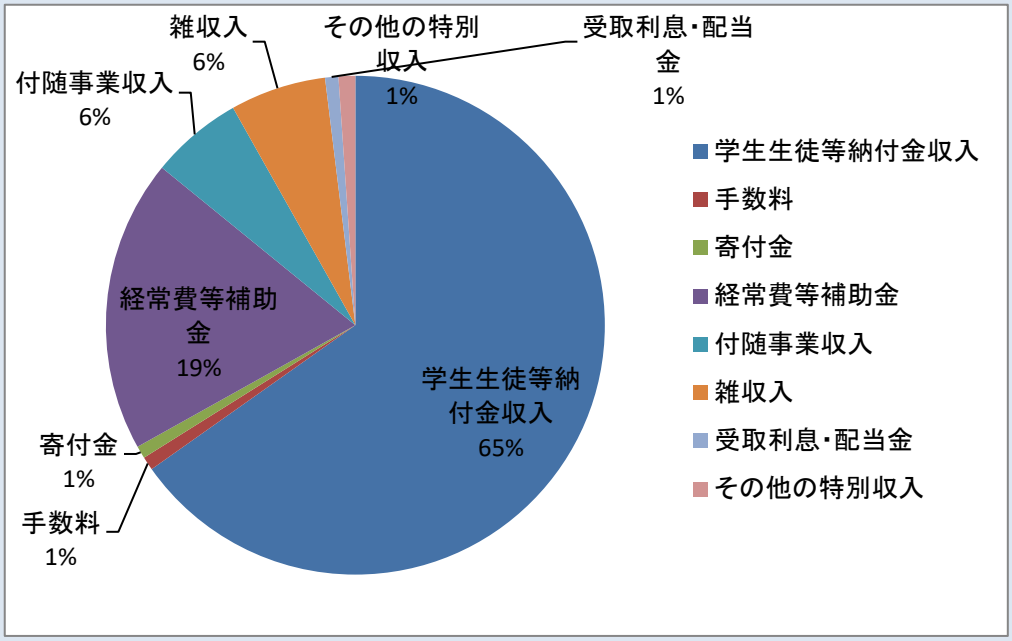
(4) 貸借対照表の推移

（単位：千円）

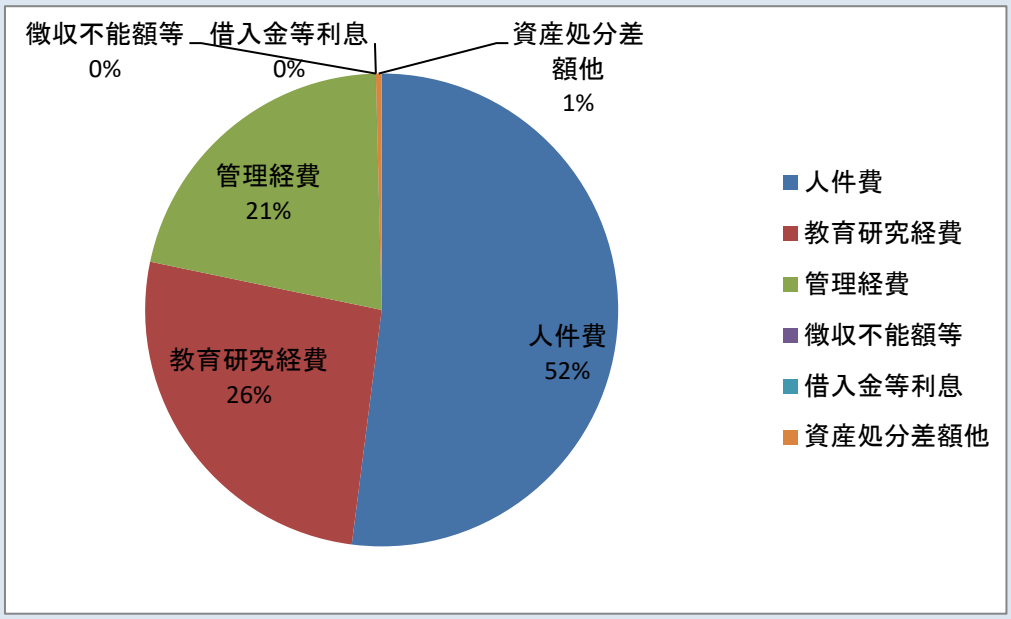
資　　産　　の　　部			
科　　目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
固 定 資 産	8,753,374	8,719,429	8,657,884
有形固定資産	7,981,247	7,946,532	7,827,028
特定資産	50,000	50,000	50,000
その他の固定資産	722,127	722,897	780,856
流 動 資 産	1,321,707	1,200,202	1,135,922
合　　計	10,075,081	9,919,631	9,793,806
負　　債　　の　　部			
科　　目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
固 定 負 債	379,433	381,716	366,196
流 動 負 債	569,852	542,950	452,807
合　　計	949,285	924,666	819,003
純　資　産　の　部			
基 本 金	13,242,173	13,411,237	12,912,596
繰越収支差額	△ 4,116,377	△ 4,416,272	△ 3,937,794
純資産の部合計	9,125,796	8,994,965	8,974,803
負債及び純資産の部合計	10,075,081	9,919,631	9,793,806

(5) 令和3年度　事業活動収入及び支出の構成比

≪事業活動収入の構成比率≫



≪事業活動支出の構成比率≫



(6) 主な財務比率の推移

事業活動収支計算書関係比率

比率名	算　式（×100）	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人件費比率	人件費/経常収入	53.2%	53.2%	53.2%
人件費依存率	人件費/学生生徒等納付金	78.1%	79.7%	80.7%
教育研究経費比率	教育研究経費/経常収入	30.9%	35.8%	26.9%
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金/経常収入	68.1%	66.8%	65.9%
教育活動収支差額比率	教育活動収支差額/教育活動収入計	-5.3%	-8.5%	-2.8%
補助金比率	補助金/経常収入	17.3%	18.6%	19.1%

経常収入=教育活動収入計+教育活動外収入計

貸借対照表関係比率

比率名	算　式（×100）	令和元年度	令和2年度	令和3年度
純資産構成比率	純資産/(負債+純資産)	90.6%	90.7%	91.6%
流動資産構成比率	流動資産/総資産	13.1%	12.1%	11.6%
流動比率	流動資産/流動負債	231.9%	221.1%	250.9%
総負債比率	総負債/総資産	9.4%	9.3%	8.4%

(7) 財務諸表の説明

学校法人は「学校法人会計基準」に則して会計処理を行い、決算時には会計処理結果を表す、財務計算に関する書類「計算書類」を作成しなければなりません。

学校法人会計基準の一部改正に伴い、平成27年度以降の会計年度より学校法人が作成しなければならない計算書類は下記のとおり変更がありました。

資金収支計算書には新たに活動区分資金収支計算書が加わりました。
消費収支計算書は名称が事業活動収支計算書に変更され、様式も大きく変更されました。
貸借対照表はその他の固定資産に含まれていた引当特定資産を特定資産として分離し、固定資産は有形固定資産、特定資産、その他の固定資産に区分される。また、従来の基本金の部、消費収支差額を合わせて純資産の部となりました。

資金収支計算書	当該会計年度の学校の諸活動に対応するすべての収入・支出の内容を明らかにし、支払資金(現金及び預貯金)の顛末を表すもの 収入には学生生徒等納付金、手数料、寄付金、補助金、資産売却、前受金等が計上され、支出では、人件費、教育研究経費、管理経費、施設関係等が計上
活動区分資金収支計算書	資金収支計算書を活動区分(教育活動による資金収支、施設整備等活動による資金収支、その他の活動による資金収支)ごとに区分し、活動ごとの資金の流れを明らかにするもの
事業活動収支計算書	当該会計年度の事業活動ごとの成果を明らかにするために、収支を経常的な収支と臨時的な収支とに区分するもの 経常的な収支とは、本業の教育研究活動における経常的な収支を示す教育活動収支と受取利息・配当金や借入金等利息等の財務的な活動として教育外収支とに分ける 臨時的な収支は、特別収支として資産売却差額、資産処分差額等の臨時的に発生した収支を示す

(8) 企業会計との比較

企業は業績を伸ばし利益を獲得することが目的なのに対して、学校法人は公共性の高い教育を提供し社会に貢献できる人材の育成を目的としています。具体的には、企業会計においては、損益計算書で純利益がいくらになっているかを明確にすることが必要なのに対して、学校法人会計においては、その事業活動収支計算書で教育を継続し得る資産の保有を前提として、いかに均衡が取れた収支を維持できるかということを明確にすることが求めれられています。

	企業	学校
損益を表すもの	損益計算書	事業活動収支計算書
資金の動きを表すもの	キャッシュフロー計算書	資金収支計算書 活動区分資金収支計算書